



あいさつスローガン

早いもので、新年が明けてもう20日も経ちます。もうすぐ2月の声が聞こえてきています。「一月は行く」というのを実感しているところです。

1月初めの朝会で、各クラスが昨年末に考えた「あいさつスローガン」を発表しました。

本校では、「あいさつ名人」を目指して、保護者や地域の方のご協力をいただきながら取り組んでいるところですが、まだなかなか大きな声であいさつ

することができない児童もいます。

あいさつは、その日の「元気のバロメーター」です。毎朝、私が校門で児童を迎える時に、元気よくあいさつする子には、「今日も、元気でいね。」と声をかけたり、「今日も一日元気に学習したり、遊んだりできるかな?」と心の中でつぶやいたりしています。

しかし、いつも元気よくあいさつする子が、時に下を向いて小さな声であいさつをすることがあります。その時は、「今日は、元気がないけれど、朝から何かあったのかな?」と・・・心配になり「元気ですか?」と声をかけるとたいていは、「元気ですよ。」とはっとした表情で声が返ってきて、ほっと一安心します。中には、「朝から、ちょっとね・・・」という答えが返ってくる時は、「そうか。早く元気になるといね。」と声をかけます。すると、にっこりした笑顔が返ってきます。それでも、その日一日は、心配でその子が元気に過ごしているか担任に尋ねたり、廊下ですれ違った時には「元気になりましたか?」と声をかけたりします。

「あいさつ」ってなんて素敵なのでしょう。短い言葉なのに、コミュニケーションをとり、仲良くなれる「人と人をつなぐ魔法の言葉」のように思います。



そのあいさつを「自ら進んでする心を育てる」ことが大切だと思います。その心が育っていないと、いくら親や先生が、「あいさつをしましょう。」と口を酸っぱくして言っても、子どもの心には響きません。

そこで、本校では「自ら進んであいさつしよう」ということを児童会が取り上げ、各クラスで「あいさつスローガン」を考えることにしました。それぞれ、自分たちで考え実行しようとする心の掘り起こしをしました。どの学級でも、一人一人が自分のあいさつを振り返り、どんなスローガンにするか一生けん命に考えたことと思います。どれも、その学級の思いがこもった本当に素晴らしいスローガンだと思います。このスローガン

は、各教室や階段等に掲示してあります。それを見ながら、子どもたち一人一人の心に響き、あいさつの輪が広がるように、教育していきたいと思います。1月27日(金)は、授業参観の日です。是非、学級や階段等に掲示してあるスローガンをご覧ください。

そして、ご家庭でもあいさつの素晴らしさを話してほしいと思います。家庭でも、朝起きた時、ご飯を食べる時、学校に行く時、帰った時、寝る時など色々な場面であいさつを交わすことがあると思います。親からでもいいです。子どもからでもいいです。どちらからともなくあいさつができる家庭は、素敵です。

家庭や地域そして学校が力を合わせ、自然にあいさつが交わせる子どもたちにしていきたいと思います。そして、3年生のスローガンにあるように、湯来南小学校は、「あいさつ日本一」の学校を目指していこうと思います。

